

# 長洲小だより 第10号

発行 長洲町立長洲小学校  
長洲町長洲1776番地  
Tel. 0968(78)0109 fax (78)7103



令和4年9月30日(金)

## 秋分／寒露

23日(金)は秋分の日でした。春分と同じように、昼と夜の長さが同じになる日です。この日を境にだんだんと夜が長くなっていきます。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、お彼岸が終わると秋の気候へと変わっていきます。二十四節季の一つ「寒露(かんろ)」(10月8日〜23日頃)とは、夜が長くなり、露がつめたく感じられる頃です。大気が安定して秋晴れの日が多くなり、菊の花が満開になり、冬鳥の渡りが盛んになる時期でもあります。もう10月です。季節の移り変わりは早いですね。

## ノートコンクール

先日、学習委員会の子供達が計画した「ノートコンクール」が実施されました。児童会組織でも、今よりも更に学習が身に付くようにと、主体的な取組を展開しています。各学級の代表のノートから「校長先生賞」「教頭先生賞」「学習委員会賞」等の多くの賞が設けられ、選ばれた子供達はこれまで以上に頑張ってくれましょう。また、選ばれたノートを見て他の子供達もノートテイクを頑張るのではないかと思います。選ばれたノートは児童昇降口に掲示されています。どうぞご覧くださいませ。



## 先生方も頑張っています

9月15日(木)に、1年2組の教室で「授業研究会」が行われました。今回は1年2組担任の唐津さくら先生が子供達と算数「どちらがおおい」の学習をしました。形も大きさも違う水筒、「多く入る方の水筒を遠足に持って行きたいけれどどちらが多いか分からない。」という唐津先生のお悩みを子供達が解決していくという展開でした。子供達はそれぞれに考えを持っていて、友達と意見を交流し、発表していました。最後は問題も解決し、唐津先生が「みんなのおかげで助かりました。ありがとう。」とお礼をすると、子供達も笑顔になりました。長洲小学校の教師は日々「分かりやすい授業」「楽しい授業」「子供達が主体の授業」を目指して研究をしています。これまでも多くの先生方が授業を公開し、今後も研究を深め続けて参ります。



## 食に関する保健指導

9月の初め、5年生の教室にて、長洲町福祉保健介護課の管理栄養士、西川加織先生による保健指導が行われていました。少ないカロリーだと思って食べ過ぎていた食べ物が、実はかなり高いことに気が付き、子供達も先生方も自分の食生活を見直すきっかけとなったようです。心身共に著しく発達する時期に、栄養の偏りやカロリー過多の食事は将来の生活習慣病等に繋がる可能性があり、早い段階からの学習による食生活のコントロールが必要です。

## 楽しそう!

筆者が校舎内を巡回していますと、子供達と先生が一緒に活動している場面をよく見かけます。先日は宿泊教室で体験した「ポツチャ」というニュースポーツをやっている場面がありました。活動の中にも学びの要素が散りばめられ、担任の先生が自ら楽しみ、普段の生活の中で学びを意識した活動を展開されているのだと感じた場面でした。

